



～お知らせ～

成果品の品質向上を図るため境界標設置業務にUAV（ドローン）を導入しました。測量等の業界ではUAVの活用は当たり前になっていますが、当社としては初の試みになります。具体的には、UAVにより写真測量を行い、写真測量の画像を解析してオルソ画像（正射投影画像）を作成します。このオルソ画像に境界標埋設位置平面図を重ね合わせることで理解度の高い（分かりやすい）図面が作成できます。現地把握、打合せ資料、関係者への説明資料などとして幅広く活用することが期待できます。

用語の解説をします。「UAV」は、無人機を意味するUnmanned Aerial Vehicleの略称です。ドローンはこのUAVの中に含まれます。次に「オルソ画像」は電子国土基本図とも呼ばれ、正確に地上の様子を撮影するための航空写真の一種です。オルソ画像撮影を行うことで、通常の中空写真撮影では生まれてしまうズレやひずみなどを回避することができ、正確な地形情報を確認できます。オルソ（ortho）とはギリシャ語で「正しい、ひずみの無い」という意味の言葉です。GISにおいては航空写真の「ひずみを修整」のことを「オルソ」と呼びます。航空写真では、特に高層ビルや山間部などで大きなひずみが生じます。そのため、写真の中心から外周に行くに従って、特にビルなどの高い建物は斜めに倒れたように写っています。このようなひずみがある状態では、計測を行うことも、地図と重ね合わせることもできません。このひずみを修正することをオルソ補正といい、この補正をかけた航空写真がオルソ画像と呼ばれています。UAVを用いたオルソ画像の成果については納品後に改めて紹介します。本社、支店を問わず新しい試みがあればチャレンジしていきましょう。



登記事項証明書等が「オンライン」で交付申請出来るようになりました。当面は本社での試行になります。本来であれば発注者が無料交付申請を行うのが筋ですが、急を要する事案等についてはご相談ください。当然ながら交付申請には手数料の支払いが生じます。B by C を考え活用してください。

～入社挨拶～

酒井 俊一 専務

7月1日に入社いたしました酒井です。出身は新潟県阿賀野市です。平成30年4月に北陸地方整備局を退職して、補償コン協会北陸支部に3年間お世話になりました。公共用地取得の経験は、30数年になりますが、しばらく現場から離れていましたので、皆様のご指導を仰ぎながら、これまでの経験を生かし少しでも会社に貢献できるように頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い

渡邊 清 補償部長

6月1日に採用となりました渡邊清です。旧新潟県中蒲原郡亀田町出身（現新潟市江南区）です。この3月まで旧北陸地建時代も含め30数年用地事務を中心に公務員生活を送ってきました。今回勤務することになりました本社は、今までに通勤した中で最も近く早ければ10分程度（自動車）で出勤できます。また現在行っている仕事は、若かった頃やっていた自分に戻れる感じがしていますが

たします。



⚡ 眼球等体力等の衰えは否めません。しかし、周りを見ればそうとも言えない状況です。私も何かお役に立てればと思い業務に励みたいと思います。よろしくお願いします。

人事異動 6月1日付け		
役 職	氏 名	備 考
補償部長	渡邊 清	新規採用
人事異動 7月1日付け		
役 職	氏 名	備 考
専務	酒井 俊一	新規採用

「3つの密を避けましょう！」 ①密室空間 ②密集場所 ③密接場面

「ウィークリースタンスの徹底を」 お願いします。

- ①昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない
- ③休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
- ④ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない



○ホームページに追加項目があれば教えてください！ www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い！「Aipo」を活用しましょう。